

背景 趣旨

1. 経済活性化戦略

我が国経済の自律的かつ安定的な成長を回復するためには、税制、歳出、金融等の構造改革を着実に進めるとともに、経済活性化による産業競争力の再生と新たな市場の創造が不可欠。

このため、政府は、本年6月に閣議決定された「基本方針2002」において、6つの戦略と30のアクションプランを策定。

2. 明るい構造改革

同戦略に基づき、国民のウォンツ(潜在的需要)に応えることで新たな需要を創出すべき。

特に、医療・健康、観光、安全な食料等、生活者たる国民に役に立つ新産業の発掘が重要。

これらは、新たな雇用を創出し、経済を活性化する「明るい構造改革」である。

3. 「医療・健康」と「観光」は裾野が広い大サービス産業

医療・健康、観光は、生活を豊かにするとともに、裾野が広く、経済の波及効果が大きい産業。

安全で安心な「食」の提供に対する関心、期待も増大。

問題の所在と課題

< 医療 健康関連産業 >

より長く、より健康に生きたい。(平均寿命と健康寿命の差[6-7歳]の短縮の必要性)健康づくり、特に生活習慣病の予防が重要。より良い医師により良いサービスを受けたい。(適切かつ十分な情報の提供が必要)高齢化の進展、医療費抑制の必要性が高まる一方で、より質の高い医療へのニーズが増大。(公的医療保険のみでは不十分)

< 食料産業 >

安心・安全な食、新鮮で付加価値の高い食材、健康に良くおいしい食材へのニーズの高まり。健康に直結する「食生活の乱れ」を是正する国民的取組みが必要。

< 観光産業 >

観光業は労働集約的かつ裾野が広く雇用創出効果も大。国際観光は、アウトバウンド約1600万人、インバウンド約500万人と大幅な出超。これまで国内への外客誘致への取組みが不十分。国内観光も低迷。一過性の名所旧跡巡りなどの団体旅行から目的型・参加型並びに個人・家族型へとシフトするなどのニーズの変化に、観光地側が対応しきれていない。高齢化社会に向け、健康環境の良い地域での定住を視野に入れた「第二のふるさとづくり」が求められている。

具体的提言と新たなサービスの発展

< 医療 健康関連産業 >

1. 健康づくり

代替医療の実証研究、サプリメント等の適切な情報提供や専門家の育成。

2. 医療情報関連サービスの推進

個人に関する情報サービス

・私の健康履歴」…個人の医療電子情報を一括管理し、生涯健康管理。(プライバシー確保を前提に電子カルテを外部保存。)

医師 医療機関に関する情報サービス

・医療番付」…医師 医療機関の評価に関する情報提供の充実 促進。
・医療マッチメーカー(仲人)」…自分にぴったりの医師 医療機関を紹介。

治療方法に関する情報サービス

・納得カウンター」…セカンドオピニオンの提供等を仲介するサービス。

3. 患者の選択の拡大

患者の選択により、公的保険診療と保険外診療を併用する余地を拡大。(情報の非対称性の縮小)

4. 食育の推進

食育を積極的に位置付け、正しい食生活を通じた健康づくり等を図る。

5. 高齢者の自立等

高齢者の活用及び要介護高齢者等の自由な活動の支援。

< 観光産業 >

1. グローバル観光戦略の推進

国家戦略の策定 国を挙げた実施体制の整備 在外公館の活用

2. 魅力ある観光地の創造・再生

「カリスマ百選 ネット・アカデミー

観光振興を成功させたリーダー(カリスマ)を軸に個性ある人材を育成。

観光関係情報を幅広く(取込み観光地の改善を促すポータルサイトの構築

海岸線や温泉の一層の活用

3. 新しい故郷づくり

定住化も視野に入れた「第二のふるさとづくり」の促進

都市と農山漁村との交流型観光(グリーン・ツーリズム)の積極的展開

4. 学校等休暇の分散化、有給休暇の着実な取得の推進

産業活性化!

新市場創出!

雇用創出!